

このたびはPET-CT検査のお申し込みを頂きましてありがとうございます。

安全に、正しく検査を受けていただく為に、以下の注意事項を良くお読みになって下さい。

1. 検査前に必ずご確認くださいこと

- 病気療養中の方は、主治医にPET-CT受診の確認をして下さい。医師の指示書・紹介状がある場合は検査当日ご持参下さい。
- 受診者の病状によっては検査を受けられない、受けても正しい結果を得られない可能性があります。
- 検査で具合が悪くなった事のある方、薬のアレルギーのある方は事前にお申し出下さい。

2. 受診に際してのご注意

<ご来院時間>

- PET-CT検査で使用する薬剤は使用可能な時間が非常に短いため、ご予約時刻の30分前までに必ずご来院下さい。予約時間に遅れますと検査は受けることができません。
- 予約時間より早くご来院されましても、繰り上げ検査はできません。

PET-CTに使用する薬剤はブドウ糖とほぼ同じ成分です。検査前日から糖분을過剰に摂取したり、糖분을過剰に消費する行為をすると検査薬が体内に行き渡らなくなり、正しい検査結果が得られません。

- 前日からの食事・運動制限をお守りいただけない場合は、検査自体をご遠慮いただく場合もございます。

<食事等の制限>

- 前日の食事内容は糖분을控えたメニューにいただき、果物・お菓子類は召し上がらないで下さい。22時以降は、水・お茶などの糖分量を含まない水分は自由にお飲みいただいて結構です。ジュース・牛乳は飲まないで下さい。当日は、検査予定時間5時間前から絶食になります。
- 検査前日・当日に激しい運動をすると筋肉で糖質が消費される為、検査薬が筋肉に集積してしまい、正しい検査結果が得られません。前日から激しい運動は控えて下さい。

<血糖値の高い方>

- 検査当日の血糖値が150mg/dl以上の方は、原則検査を受ける事ができません（血糖は検査当日に簡易測定法にて検査を行います。検査時の血糖値が150mg/dlを超える場合には、集積が弱まり偽陰性となる場合があります）。
- 透析治療中の方は、検査前に必ず主治医の許可を得て下さい。医師の指示はなるべく文書でお願いいたします。（検査同意書に主治医の署名欄がございます）。

<糖尿病について>

- ①インシュリン等で一週間以上のコントロールをお願いいたします。
- ②予約時間の如何にかかわらず、前日21時以降は糖分量を含む飲食物の摂取を控えて下さい。同時に、インシュリン・経口糖尿病薬の投与は検査終了まで行わないで下さい。

<女性の方へ>

- PET-CT検査は放射線の被曝を伴う検査です。妊娠中・妊娠の可能性のある方は検査を受ける事ができません。
- PET-CT検査薬剤の卵子への影響は良く分かっていません。当院では不妊治療中の方の検査受診をご遠慮いただいております。
- PET-CT検査は放射線同位元素を体内に注入する検査です。授乳中の方は検査をご遠慮下さい。

<PET-CT検査の被曝量と検査時間>

- 被曝量は、胃バリウム検査で受ける放射線量とほぼ同量です。
- PET-CT検査の所要時間は全体で約3時間です。検査薬剤を注入して成分が体内に行き渡るのに1時間、検査時間は30～50分、検査後の回復時間に1時間かかります。これらの時間は、検査薬剤に含まれる放射線同位元素の半減期（放射線同位元素が半分になるまでの時間）に準じます。PET-CT検査は受診者自身が放射線源になる検査ですから、検査中の外出や、付き添いの方と同室で待機するなどは出来ません。院内の放射線管理区域内で待機していただきます。
- PET-CT健診では、PET-CT検査の他に看護師の問診・身体計測・血糖チェックなどもございます。

<キャンセル・予約変更>

- PET-CT検査薬剤は使用時間が限られており、使用日時に合わせて配達の手配をしております。したがって、検査前々日からの自己都合によるキャンセルに対しては、50,000円のキャンセル料が発生します（50,000円は薬剤の料金に相当します）。